



「人と、社会と、共に喜び、共に栄える」

ダイドードリンク株式会社 中京営業部岡崎オフィス

住所：〒444-0914 愛知県岡崎市末広町8-17

電話番号：0564-21-7331

担当者：高橋 永

主要業務：清涼飲料水販売

ホームページ：http://www.dydo.co.jp/

目指すゴール



ダイドードリンクは1975年の創業以来、本物のおいしさにこだわった清涼飲料の企画・開発と、自販機中心の販売体制・オペレーション体制により独自のビジネスモデルを構築してまいりました。全国有数の自販機を保有し、その業界シェアは3位グループを維持しています。また、自販機での売上比率が80%以上を占め、同業他社とは一線を画すユニークなポジションを築いています。私たちのグループ理念は、『人と、社会と、共に喜び、共に栄える』という考えのもと、SDGsの原則である『誰一人取り残さない』にも通じるものです。また、私たちは2030年のありたい姿として、グループミッション2030『世界中の人々の楽しく健やかな暮らしを創造するDyDoグループへ』を定めました。SDGsのめざす未来の実現に向けて、事業を通じて貢献することが私たちのミッションです。私たちは2030年に向けて、SDGsへの貢献を通じ世界中の人々が楽しく健やかに暮らせる持続可能な社会をめざしていきます。



CO2を吸収する森林を保護するため、「緑の募金」ができる自販機の設置を進めています。収益金の一部は全国の地方緑化推進委員会を通じて公益財団法人国土緑化推進機構に寄付され、全国の緑化推進活動費にあてられています。

ダイドードリンク(株)が設置する「**情報発信ベンダー**」の売上の一部を自治体様の事業等へ寄付を行います。



SDGsの取り組み紹介

【自販機の再生・長寿命化への取り組み】 自販機の冷却・加温機の整備、入替を行い

2019年に10.4年であった自販機の平均寿命を2030年までに15年達成を目指します。 **ゴール12**

【容器での環境負荷低減への取り組み】 海洋プラスチック問題および資源の有効活用への

取り組みの一環として、飲料自販機への商品補充の際、自販機の空き容器リサイクルボックスから空き容器

を速やかに回収できる体制整備を進め2030年までに空き容器回収率100%達成を目指します。 **ゴール14**

【プラスチック容器のサステナブル化】 2030年までにプラスチック容器のサステナブル化（植物

【緑の募金自販機】 CO2を吸収する森林を保護するため、「緑の募金」ができる自販機の設置を

進めています。収益金の一部は全国の地方緑化推進委員会を通じて公益社団法人 国土緑化推進機

構に寄付され、全国の緑化推進活動費用にあてられています。 **ゴール13・ゴール15**

【グリーン電力証書システム】 ダイドードリンクは、2002年に清涼飲料業界で初めて「グリーン電力

証書システム」に参加しました。風力によるクリーンエネルギーの活用により、毎年約400tのCO2排出量削

減に貢献しています。 **ゴール7**

その他の取り組みはこちら

<https://www.dydo-ghd.co.jp/sustainability/>

